

# 施策評価シート

担当課：文化課

## 1 総合計画上の位置づけ

施策名	文化・芸術・歴史
政策名	「まち」を共に創る
施策がめざす将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術文化活動がしやすい環境が整備され、市民のだれもが芸術文化に親しんでいます。</li> <li>・市民共有の財産である歴史や文化財について、市民がその重要性を認識し、適切な保存、活用がされています。</li> </ul>

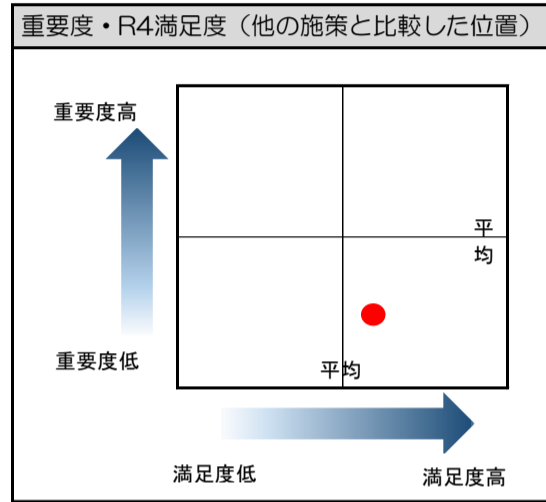
## 2 施策評価指標

成果指標名	単位	基準	令和4年度目標	令和9年度目標	
過去1年間に芸術文化を鑑賞した人の割合	%	44	60	80	
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	46	44	31	29	34

## 3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度/単位 (%)
令和3年度
98.4

満足度（満足している市民の割合）/単位 (%)		
令和3年度	 DOWN	令和4年度
95.3		93.7



## 4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

- ・当日券の割引など、入場しやすい料金設定を検討します。
- ・音楽イベントや文芸関連事業の入場者数の増加を図るためPRにおいて工夫を凝らし、その他のコストを削減します。
- ・美術展は審査方式を継続して出品数の増加等を図ります。

## 5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

### 事務事業名①：文化振興事業

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
3,768	美術展	→	↗	各事業は、数十年の歴史がある恒例行事となっており、今後も継続して行う必要があります。特に美術展については、審査方式を継続して出品数の増加等を図り、若い世代（高校生など）の出品者を増やすよう取り組みます。	

### 事務事業名②：文化人材支援事業

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
7,616	関市文化協会補助	→	↗	芸術文化活動を生涯継続して実施していくには、受け皿となる団体が必要であり、また、市民が鑑賞、体験する機会を各団体が行い、文化のまちづくりを担ってもらうため、現在ある団体に補助金を支給して活動が継続できるよう取り	

### 事務事業名③：子ども文化事業

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
3,473	木の造形作品コンクール	↘	→	子どもの頃から文化芸術に触れることは、心の成長につながります。この事業は郷土の偉人、円空と松尾芭蕉の弟子、惟然にちなみ、木の造形と俳句をベースとした全国規模の行事であります。この行事により、子どもたちの郷土理解の養成、関市の知名度向上を図ります。	

### 事務事業名④：市民の劇場事業

R4決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
28,807	市民の劇場【文化会館】	→	↗	関市文化会館や4地域のホールにて、各世代に応じた様々なジャンルの公演やイベントを開催することで、高齢者から乳幼児まで多くの市民が文化芸術に触れる機会を提供し、心豊かなまちづくりに繋がります。	○
	ホールアウトリーチ	↗	↗		